

企業研究

学生が聞く



2018

3

3〜15歳向けの職業体験施設「キッザニア甲子園」(西宮市)などを運営している。施設内には現実の3分の2サイズの街があり、実在する企業の店舗や工場などを模した約60種類のパビリオンが並ぶ。そこでは子どもたちが仕事をしたり、逆にサービスを受けたり、逆にサービスを受けた。武庫川女子大の赤岡仁之教授のゼミ生が、野並健治執行役員を訪ねた。

「キッザニアの概要を。」
「メキシコの会社が開発した屋内型施設で2006年、東京に同国以外で初めてオープン。甲子園は09年に日本で2番目の施設として誕生しました。年間来場者数は、リピーターを中心に71万5千人を数えます」

「仕事は医師や消防士、新聞記者、バスガイドなどさまざま。スタッフの指導

KCJ GROUP(東京)

野並健治執行役員(57)



KCJ GROUPの野並健治執行役員(右)に取材する武庫川女子大3年の古谷菜由さん=いづれもキッザニア甲子園



「よく聞く企業、特に食品関係などが選ばれがちではありますが、水道やボイラーの修理なども根強いファンが多いですよ。どこもそれほど差はありません」
「親の職業を勧められて体験し『僕にはできない。こんな難しい仕事をしていられるお父さんはすごい』と気付くこともあるようです」

「求める人材は。子どもが好きで、コミュニケーション能力がある人。子どもたちはいつも真剣勝負です。生徒ではなく、少しだけ年下の同僚という感覚で接しています」
(まとめ・佐伯竜一)

を受け、1種類につき30分間体験します。報酬は専用通貨で受け取り、施設内の買い物や習いごとに使ったり、預金したりできます」
「支持される理由は。子どもが自然に、自発的に大人の役を演じられる」

環境を整えていること。楽しんでながら、働く意味や社会の成り立ちを学べます。幼稚園、小中学校の団体利用も多く、約7割はリピーターでしょうか。中には年約80回来る人もいます」
「職業の人気に偏りは。」



迫力抜群の飛行機がお出迎え

2004年設立。売上高は非公表。キッザニア甲子園はアルバイトを含め従業員約千人。キッザニア東京とは別採用で、18年春は新卒者38人を採用した。西宮市甲子園八番町1の100。採用担当 ☎0798・81・0182

キッザニアに年間70万人超